



クローバー動物病院

だより 第3号



今回は、春から秋にかけて活動が活発になるノミとマダニの予防と歯のはえかわりについてです。

1 ノミ・マダニ予防

- ☆ ノミ・マダニは環境中にいますので、だいたいは散歩の時にくっついてきます。
- ☆ ノミは皮膚病や瓜実条虫というおなかに寄生する虫の原因になります。
- ☆ 家の中に連れてきたノミは快適な環境のため、冬でも活発に活動し、ヒトにも被害が及びます。
- ☆ マダニは伝染病を媒介します。
- ☆ どちらも犬猫の血を吸いますので、寄生する数が多くなると貧血になります。
- ☆ 予防・治療は病院で販売されているお薬が主流になっています。



2 歯のはえかわり

- ☆ 乳歯は、生まれてから4~5ヶ月齢で永久歯に生え変わります。
- ☆ 歯が抜けた際は多少出血します。大抵はすぐに止まりますが、出血が止まらないときは、すぐ病院に連れてきてください。
- ☆ 生後8ヶ月を過ぎても、乳歯が抜けないときは、自然に抜けるのは難しいといわれています。
- ☆ この場合、乳歯と永久歯が同時に生えた状態になりますので、すきまができて、ごはんの残りがはさまって、歯石の原因になります。
- ☆ 歯石は、細菌のかたまりで、歯肉炎などの原因になります。近年、犬の高齢化が進み、歯の病気になる子が増えています。若いうちから、歯磨きの習慣をつけて、歯をケアすることをおすすめします。

歯石が蓄積した歯



※ 抜けない乳歯は、麻酔をかける機会がある時に抜くことをおすすめします。